

2023年4月17日
株式会社三菱UFJ銀行

AnserDATAPORT®を利用した外国送金のISO20022対応について

弊行では、BizSTATION 全銀・ANSER 接続サービスにて外国送金をご利用のお客さまに対して、ISO20022 対応版の AnserDATAPORT®を利用することで、2025年11月以降も外国送金の依頼受付を可能とする予定であることをお知らせいたします。

1. 背景

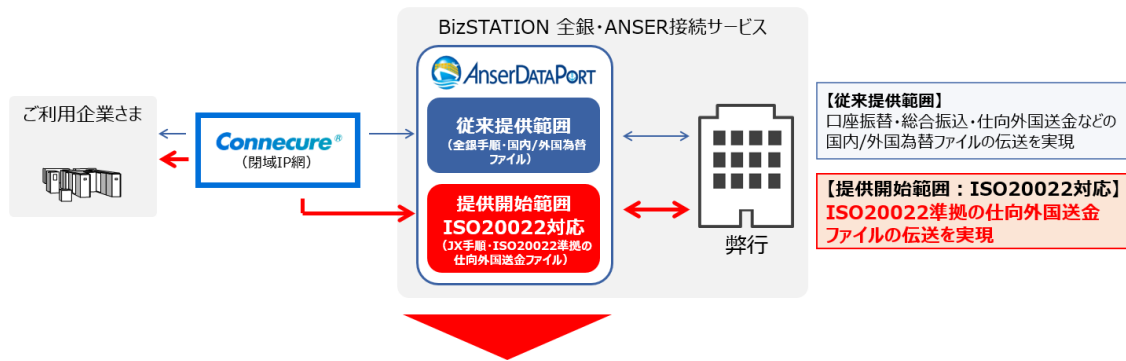
外国送金にかかる代表的な決済ネットワークで、銀行間の国際金融取引を仲介する SWIFT (国際銀行間通信協会) は、外国送金に用いるデータフォーマットについて、新規格 (ISO20022 という金融サービスに関連するデータフォーマットを規定した国際標準規格) を採択し、2025年11月までに現規格からの移行を完了させる旨を発表しております。

これに伴い、世界各国の金融機関および金融機関に対して外国送金を依頼されるお客さまは、新規格を用いた外国送金を可能とするため、2025年11月までに、データフォーマットや伝送手順の変更等(以降、ISO 対応という)を実施する必要があります。その一環として、各金融機関では、インターネットバンキング・ファームバンキングサービスの改定を進めております。

2. 対応概要

日本からの外国送金指示を行うことが可能な弊行の BizSTATION 全銀・ANSER 接続サービスでは、お客さまの会計・財務システムと銀行システム間のデータ伝送について、株式会社エヌ・ティ・ティ・データが提供する AnserDATAPORT®を利用しております。

この度、株式会社エヌ・ティ・ティ・データが、2024年度下期に ISO 対応版の AnserDATAPORT®を提供すると発表したことを受け、弊行では、BizSTATION 全銀・ANSER 接続サービスにて外国送金をご利用のお客さまについて、2025年11月以降も、ISO 対応版の AnserDATAPORT®を利用した外国送金の依頼を受付可能とする予定です。



「BizSTATION 全銀・ANSER接続サービス」をご利用のお客さまについて、2025年11月以降も
ISO20022準拠の外国送金の依頼を受付可能となります

3. 今後の予定

AnserDATAPORT®の ISO 対応を受けた BizSTATION 全銀・ANSER 接続サービスの利用方法の変更点については、別途ご案内いたします。

以上

※AnserDATAPORT®は、株式会社エヌ・ティ・ティ・データにおける登録商標です。

※Connecure®は、株式会社エヌ・ティ・ティ・データにおける登録商標です。